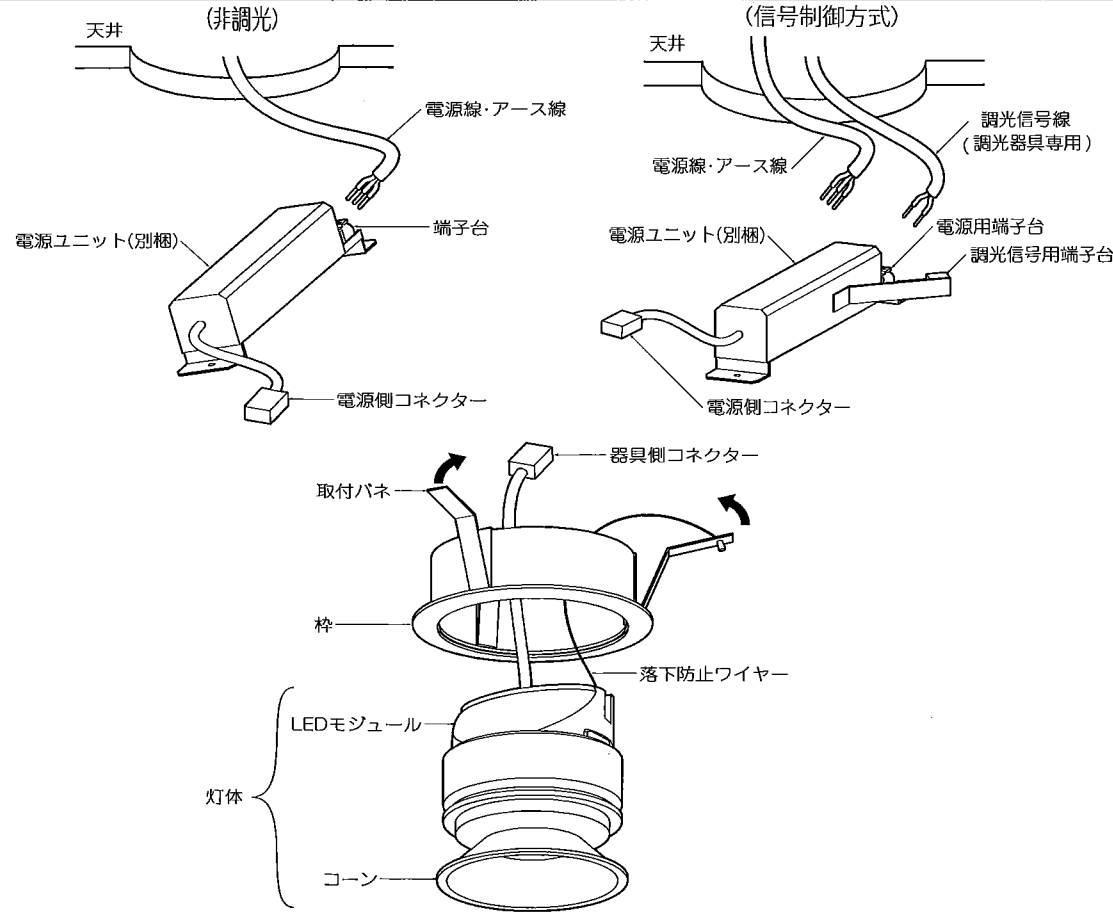


【型番】 ERD2364S, ERD2365S, ERD2366S, ERD2367S, ERD2368S, ERD2369S, ERD2364S-P, ERD2365S-P, ERD2366S-P, ERD2367S-P, ERD2368S-P, ERD2369S-P

◆各部の名称

この図は一部省略抽象した共通部品図です



◆仕様

区分	型番	ランプ色	配光	近接照射限度	区分	型番	定格電圧	周波数	入力電圧	入力電流	消費電力	
Rs3 (非調光)	ERD2364S	ナチュラルホワイトタイプ	中角	0.2m	Rs3 (非調光)	ERD2364S	AC100V-242V	50Hz/60Hz	100V	73mA	6.1W	
	ERD2365S	電球色タイプ(3000K)				200V			42mA	6.1W		
	ERD2366S	電球色タイプ(2700K)	広角			242V			39mA	6.3W		
	ERD2367S	ナチュラルホワイトタイプ				Rs3 (信号制御方式)			ERD2364S-P	100V	74mA	7.3W
	ERD2368S	電球色タイプ(3000K)							中角	ERD2365S-P	200V	47mA
ERD2369S	電球色タイプ(2700K)	ERD2366S-P										
Rs3 (信号制御方式)	ERD2364S-P	ナチュラルホワイトタイプ	中角		ERD2367S-P				242V	41mA	7.5W	
	ERD2365S-P	電球色タイプ(3000K)			ERD2368S-P							
	ERD2366S-P	電球色タイプ(2700K)	ERD2369S-P									
	ERD2367S-P	ナチュラルホワイトタイプ	広角									
	ERD2368S-P	電球色タイプ(3000K)										
ERD2369S-P	電球色タイプ(2700K)											

※専用電源を必ず使用してください。

△ 3年以上お使いいただいた器具は、安全のため器具・コードなど1年ごとに点検をし、異常があれば交換してください。

■清掃方法について

△ 注意 必ず電源を切ってください。感電の原因となります。

- 中性洗剤をつけ、よく絞ってから拭きとり、乾いた布で仕上げてください。
- シンナーやベンジンなど揮発性のもので拭いたり、殺虫剤をかけたりしないでください。

●電源工事が必要な場合は、電気工事店に依頼してください。

アフターサービスおよび転居や他の地域へのご贈答の場合は、お買上げの販売店か、最寄営業所へお問い合わせください。

◆適合LEDモジュール

区分	型番	ランプ色	配光	適合電源ユニット
Rs3	RM03S27M-400H2NP	電球色タイプ (2700K)	中角	RX-135N (非調光)
	RM03S27W-400H2NP		広角	
	RM03S30M-400H2NP	電球色タイプ (3000K)	中角	RX-144N (信号制御方式)
	RM03S30W-400H2NP		広角	
	RM03S40M-400H2NP	ナチュラルホワイト タイプ	中角	
	RM03S40W-400H2NP		広角	

△ LEDモジュール交換の際は、必ず電源を切ってください。感電の原因となります。

◆LED光源について

LED素子は白熱灯・蛍光灯などの一般光源に比べバラツキがあるため発光色、明るさが異なる場合がありますのでご了承ください。

◆信号制御方式の調光器具について

調光した状態で、電源スイッチを入り切りした場合、一旦明るく光った後に調光状態や消灯状態に移行する場合があります。

◆適合信号制御器(別売)の接続台数

型番	定格電圧	接続台数	調光範囲
X-239WB	AC100V	47台(50台)	10%~100% 連続調光
X-240WB	AC200V	25台(50台)	
	AC242V	21台(50台)	
RX-382W	AC100V	20台(20台)	

※()内は、信号供給のみの接続台数です。

◆取付方法

1. 安全確保の為、電源ブレーカー及び、電源スイッチを遮断してください。

△ 感電の原因となります。

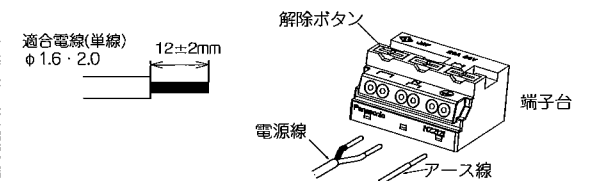
2. この器具は天井取付専用器具です。器具重量に十分耐えるよう、天井取付部の強度を確保し、指定の埋込穴をあけてください。(取付有効板厚3mm~25mm) 電源ユニットを埋込穴から挿入する場合は、天井内懐が高さが必要です。

埋込穴寸法
φ75±1

適合電源ユニット	埋込深さ
RX-135N	90mm
RX-144N	100mm

△ 取付部の強度が不十分な場合、上記埋込穴寸法より大きい場合は、器具落下・光モレの原因となります。

3. 電源線を電源ユニットの電源用端子台に接続してください。
 - 電線はストリップゲージ長12±2mmにむいてください。
 - 電線を奥までまっすぐ確実に差し込んでください。
 - 送り容量15A以下。
 - D種接地工事を行ってください。必ず電源用端子台のアースを使用してください。

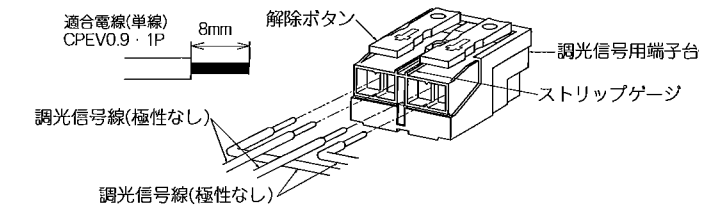


△ 電源線は解除ボタンを押さずに引き抜かないでください。接点金具が変形し、焼損、漏電、感電、不点灯の原因となります。

△ 接続不完全や容量オーバーの場合、火災・感電・器具故障の原因となります。

△ 電気設備技術基準で定められたD種接地工事を必ず行ってください。火災・感電の原因となります。

4. 信号制御器(別売)で調光する場合は、調光信号線(推奨信号線 CPEV0.9・1P)を調光信号用端子台に接続してください。
 - 調光信号線はストリップゲージ長8mmにむいてください。
 - 調光信号線を奥までまっすぐ確実に差し込んでください。
 - 使用する信号制御器の最大接続台数以下で接続してください。



- 信号制御器は当社指定の商品をご使用ください。
- 信号制御器に付属の取扱説明書をご参照ください。
- 調光信号用端子台を押さえながら電源ユニットを埋込穴より挿入し、天井内で横転などしないように設置してください。

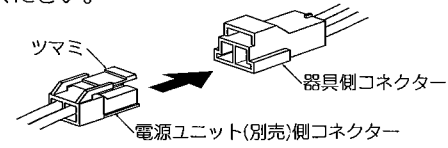
△ 電源ユニットが器具に触れないように設置してください。火災の原因となります。

△ 接続不完全や容量オーバーの場合、火災・感電・器具故障の原因となります。

5. 電源ユニットを埋込穴より挿入し、天井内で横転などしないように設置してください

△ 電源ユニットが器具に触れないように設置してください。火災の原因となります。

6. 器具側コネクタに電源側コネクタを確実に差し込み接続してください。



⚠ 接続不完全の場合、火災・漏電の原因となります。

7. 枠を埋込穴に押し込んでください。
● 取付パネ(3ヶ所)を矢印方向へ縮め、枠と灯体を埋込穴へ押し込んでください。(表面図参照)

⚠ 取付けが不十分な場合、器具落下の原因となります。

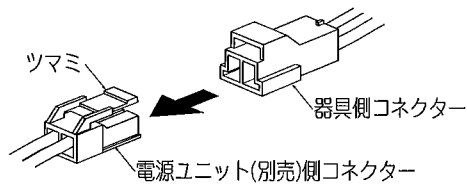
◆LEDモジュールの交換方法

1. 安全確保の為、電源ブレーカー及び、電源スイッチを遮断してください。

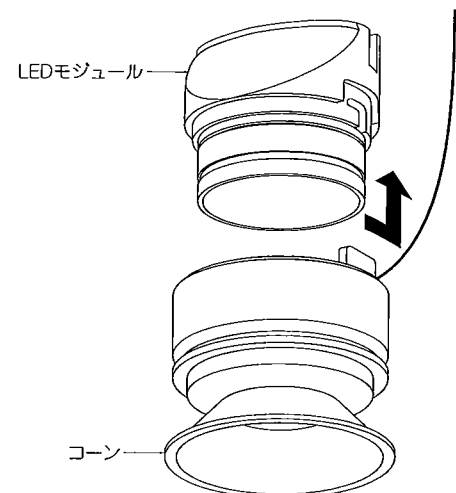
⚠ 感電の原因となります。
⚠ 点灯中や消灯直後(消灯後20分まで)は高温になりますので、LEDモジュール交換はしないでください。やけどの原因になります。

2. 灯体を枠から引き抜いてください。

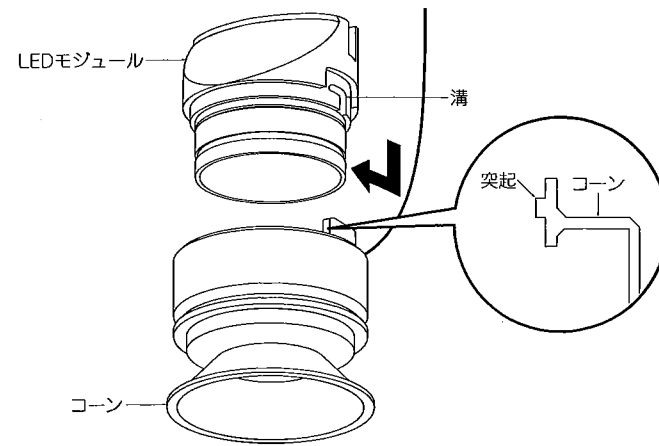
3. ツマミを押しながら電源側コネクタを器具側コネクタから引き抜いてください。



4. LEDモジュールを左に回してコーンから取りはずしてください。



5. 新しいLEDモジュールの溝をコーン上側の突起(2ヶ所)に合わせて押し込んでから、右に回して固定してください。



6. 取付方法 6 を参照してコネクタを接続してください。

7. 灯体を枠に確実に取付けてください。

⚠ 取付けに不備があると落下の原因となります。